



本気 元氣 根氣

「本気で」「元気に」「根気よく」取り組むことのよさに気づく子供

佐賀市立巨勢小学校 学校だより 令和7年7月7日

第5号

■ 6年生長崎修学旅行 ■

6月19日(木)～20日(金)、6年生は長崎へ修学旅行に行きました。梅雨時期とは思えないほど天気に恵まれ、充実した学びの2日間になりました。

1日目は平和学習でした。長崎原爆資料館を全員で見学した後、長崎平和追悼記念館で平和集会を行いました。平和集会では、厳かな雰囲気の中、巨勢小で折ってきた千羽鶴を奉納し、平和宣言をしました。昼食後、班ごとに計画したフィールドワークを行いました。長崎原爆資料館をもう一度訪れ、原爆の悲惨さを詳しく学んだ班もありました。

今年は、戦後80年の節目の年になります。海外に目を向けると、新たな争いも生まれ、多くの命が失われ、ニュース等を見るたびに胸が痛みます。「私たちは、微力だけれど無力じゃない」という言葉があります。子ども達には、自分達にできることをしっかりと考えてほしいと思います。

2日目は歴史学習でした。1日目同様、班で計画したフィールドワークを行いました。歴史情緒あふれる長崎の街を見学して回りました。社会科の学習内容としては、2学期に学ぶ内容だったので、その学習の時に見学したことを思い出してくれればと思います。

2日間とも時間通りに集合ができ、スケジュール通りに修学旅行を進めることができました。夕食もたっぷり時間をとり、ゆっくり食えることができました。さすが、巨勢小学校の最上級生としての集団行動でした。今後、運動会の準備等の動きも始まります。巨勢小学校のリーダーとして、下級生に立派な姿を見せてくれることを期待しています。



1日目のフィールドワークの主な見学地
山里小学校、如己堂、浦上天主堂、爆心地公園など
2日目のフィールドワークの主な見学地
長崎歴史文化博物館、出島、中華街、グラバー園など

■ 6年生平和学習 ■

6月24日(火)2校時、音楽室にて**6年生の平和学習**が行われました。今回は、先の大戦で戦死した父や肉親を持つ遺族で組織した**佐賀県遺族会の「平和の語り部」事業**を活用して、**2名の語り部の方**に来校していただきました。電子黒板やパネル等を使って、**佐賀での空襲のこと、沖縄戦のこと、原爆のこと、戦争中の生活のこと**などを話していただきました。前の週に、長崎の修学旅行で平和学習を行ったばかりでしたので、さらに学びが深まりました。語り部の2名の方、お忙しいところありがとうございました。



■ 自宅を離れて公民館から登校（通学合宿） ■

6月26日(木)～27日(金)、巨勢公民館にて、巨勢校区通学合宿実行委員会の主催で、**通学合宿**（小学4年生から6年生が対象）が行われました。巨勢小学校から18名の子ども達が参加しました。



活動の様子を見に行った時、班で協力して、夕食（カレーライス等）の準備をしているところでした。自分の洋服は自分でたたむ、寝るために布団の準備をする、食事の準備や片付けをする、荷造りをするなど、何事も経験が大切です。**うまくいかないことや失敗もあるかもしれないませんが、経験を積み、子ども達は少しずつ成長**していきます。この合宿で学んだことが、自宅での生活の中で見られるようになることを願っています。

この通学合宿は、延べ50名程のスタッフの方の協力があり、実施できているとのことですので。参加した子ども達には、**スタッフの方への感謝の気持ち**を忘れないでほしいと思います。

■ 5年生「米作り」田植え体験 ■

この時期、テレビのニュース等で小学生が田植えをしている様子の報道があります。巨勢小学校においても、**6月27日(金)2～3校時**、**5年生が田植えを体験**しました。巨勢公民館の南側の水田で、泥だらけになりながら、苗を一つずつ手で植えました。子ども達にとって**貴重な体験**になりました。秋の収穫が楽しみです。

この体験学習については、苗づくりから**JAや地域の農家の方の協力**で実施することができています。学校教育への協力に感謝いたします。

